

beyond2020プログラム [認証事業例]

日本全国から、さまざまな文化イベントを認証しています。



まちごと美術館ことごと

主催:株式会社バウハウス(新潟市)
開催地:新潟県内
障がい者アートのレンタルを通じて、まちを彩りながら、障がい者の社会的自立を創造する事業。
新潟県内22店舗のモスバーガーでの「MOSごと美術館」、JR新潟駅での「エキゴト美術館」のほか、市内のカフェ・レストラン・銀行・観光案内所・スーパー銭湯・バス停・幼稚園・小学校などで展開しています。



阿波おどり

主催:徳島市観光協会、徳島新聞社
期間:2017年8月12日～2017年8月15日
開催地:徳島市内各地
日本を代表する伝統芸能として、海外からも招待される「阿波おどり」。徳島県内各地で行われ、中でも毎年8月12日～15日の「徳島市の阿波おどり」は、120万人を超える人出で街中が踊り一色に染まります。車いす席、外国人専用席を備えた演舞場もあり、総合案内所には通訳を配置しました。



ニッポンたからものプロジェクト

主催:文化庁、芸団協 期間:2017年7月～11月
開催地:京都府、福井県、富山県、広島県、島根県
「日本遺産」に認定されている地域の伝統建築等を舞台に、次代を担う若手実演家や地域芸能団体等による実演芸術(Live Art)公演を実施。2017年度は、福井県小浜市の旭座、富山県高岡市の瑞龍寺などの5地域において、外国人タレントらが「旅人(進行役)」となって、実演を新たな切り口で紹介し、これまで気づかなかった魅力を親しみやすく発信するプロジェクトを展開しました。



北のまんが大賞

主催:北海道
期間:2017年6月7日～2018年3月31日
新たな才能を発掘する漫画公募コンテスト「北のまんが大賞」

では、北の大地の魅力を伝える作品を広く募集。選考には漫画家や道内出版社に加え、今年度から在京大手出版社の漫画編集部も参加し、デビューへのきっかけを掴む機会を創出するため、受賞作品はホームページ等で公表するほか、あらすじを英語で紹介しします。



フライデー・ナイト・ミュージアム@上野

主催:文化庁ほか 期間:2017年2月～3月
開催地:東京都台東区(上野)
上野の国立ミュージアムの夜間開館と連動したアートプロジェクトを実施。オープニングはプレミアムフライデーの初日にあわせ、国立西洋美術館でコンサート、国立科学博物館でヨガ体験、東京国立博物館で映画上映や食イベントを実施するなど、ビジネスパーソンや外国人の方にも来場いただけるよう、夜のミュージアムの新たな楽しみ方を開拓・提供しました。



小松伝統芸能祭

主催:小松市
期間:2017年11月18日～2017年11月19日
開催地:石川県こまつ芸術劇場うらら
歌舞伎や邦楽、日本舞踊など、「歌舞伎のまち小松」の伝統芸能が一堂に会し、日頃の成果を披露。今年は、ユネスコ無形遺産・沖縄「組踊」の特別鑑賞会を同時開催。初めて伝統芸能を観る方、外国人にも分かりやすく紹介するとともに、会場には、車椅子席等を完備しました。



日本文化の魅力を発信!

文化情報プラットフォームに登録して、あなたの文化イベントを国内外に

文化情報プラットフォームの利用方法

▼アクセスはこちら!

<http://culture-nippon.go.jp>

カルチャーニッポン 検索



文化プログラム(イベント)の登録はこちらのバナーをクリック!

beyond2020プログラムの申請はこのバナーから!



国内外に情報発信!

文化イベント情報登録のみの方はこのバナーから!



※beyond2020プログラム申請と文化イベント登録は、別々のユーザー登録が必要です。
※Step1～Step2は、初回のみ登録が必要です。

TOPページのイメージ

■ beyond2020プログラム よくあるご質問 ■

- | | |
|---|--|
| <p>Q1 参加者から参加料をとるイベントでも申請することはできますか。</p> <p>A1 参加料の有無は問いません。営利を目的とする事業においても申請していただけます。</p> | <p>Q3 申請してから認証されるまでどれくらいの期間がかかりますか。</p> <p>A3 申請の受理件数により、期間は変動いたします。ロゴマークを必要とする期日までに2週間以上の余裕をもって申請していただけるようお願いいたします。</p> |
| <p>Q2 規模の小さな事業でも申請できますか。</p> <p>A2 事業の規模は問いません。認証の要件に沿った取り組み内容の事業であれば規模の大小を問わず申請していただけます。</p> | <p>Q4 音楽やアートは言語の壁を取り除く取組として認証されますか。</p> <p>A4 音楽やアートそのものだけでは認証できません。日本文化を伝えるための外国語対応に関わる一歩進んだ具体的な取り組みが必要です。</p> |

■ beyond2020プログラム お問い合わせ ■

文化庁beyond2020プログラム事務局
Tel.03-5657-0684 Email:bunkacho@beyond2020program.jp
受付時間 10:00～17:00(土・日・祝・年末年始を除く)



文化庁ホームページ <http://www.bunka.go.jp>

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室 TEL:03-5253-4111(代表)



文化情報プラットフォームとは

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、全国各地の文化プログラム(イベント)や文化施設等の情報を広く収集し、インターネット上で管理・集約して、誰でも利用できる情報として発信するための取組です。この情報を基に文化庁は、文化プログラム総合ポータルサイト「Culture NIPPON」を構築・運用しています。

文化情報プラットフォーム登録のメリット!

①「Culture NIPPON」へ掲載、国内外に発信

文化庁が運営する文化情報ポータルサイト「Culture NIPPON」に掲載でき、広く国内外に情報発信が行えます。

②beyond2020プログラム申請が簡単に

インターネット経由による電子申請サービスで、「beyond2020プログラム」の認証手続きが、より簡単でスムーズに行えます。

③多言語で発信

日本語で入力するだけで、機械翻訳による多言語(英語・中国語・韓国語・フランス語)対応が可能です。

④随時編集が可能

登録いただいたイベント情報等の修正や追加など随時編集が可能です。

⑤オープンデータとして、広く公開・提供

将来的には、民間事業者等が、登録されたデータを活用して、さまざまなサービスを展開することを目指しています。

■登録できる文化関連情報■

beyond2020プログラムや東京2020公認文化オリンピック・東京2020応援文化オリンピックなどの認証が必要な文化情報のみならず、あらゆる文化プログラムが登録でき、あなたの文化情報をCulture NIPPONから発信が可能です。

主な文化プログラム(イベント)の具体的な事例

- 美術館・博物館で行われる展覧会情報
- 劇場・音楽堂で行われる公演情報
- マンガ・アニメ、映画、映像関連のイベント情報
- 祭り、花火大会など四季折々の生活文化情報
- 芸術祭・文化祭などのイベント情報
- 日本食博覧会などのグルメ情報
- デザイン・ファッションなどの展覧会情報
- その他日本文化を発信する様々な取組

(主な文化プログラム認証制度)

beyond2020プログラム
国、都道府県、政令市等が認証



東京2020公認・応援文化オリンピック
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が認証



※東京2020文化オリンピックについては、Culture NIPPONのサイトからは申請できません。右記サイトをご参照ください。東京2020参加プログラム <https://participation.tokyo2020.jp/>

beyond2020プログラムとは

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを『beyond2020プログラム』として認証し、日本全国に展開します。

日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出します。

営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を対象とします。

公的機関のほか、民間事業者、その他任意団体等幅広い方に参画いただけます。

beyond2020プログラムの認証要件

日本文化の魅力を発信する事業・活動であること

■日本文化とは、以下のような多様なものを含みます。

伝統的な芸術、現代舞台芸術

最先端技術を用いた各種アート、デザイン

クールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術

ファッション

和食・日本酒その他の食文化

祭り、伝統的工芸品、和装

花、木材・石材・畳等を活用した日本らしい建築

多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを
含んだ事業・活動であること

■障害者にとってのバリアを取り除く取組 (具体例)

車いす専用席等があるバリアフリー対応の会場を
選ぶ等の工夫がある催事

視覚障害の方でも楽しんでいただけるように
点字の解説がある展覧会

聴覚障害の方でも参加できるように
手話通訳を配置したイベント など

■外国人にとっての言語の壁を取り除く取組 (具体例)

外国語が話せる案内スタッフを配置したシンポジウム

英語が併記されたチラシや
外国語対応のHPによる情報発信をしているお祭り

タブレットによる多言語解説がある伝統芸能 など

認証

認証を受けた事業・活動は
beyond2020プログラムロゴマークを
使用することができます。



■ロゴマークについて■

beyond2020プログラムロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフにしています。加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れます。日本の文化を共に継承し、引き継いでいきたい、との願いを込めて、2020年を新たな発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマークです。